

開局して間もない昭和 41 年夏のフィールドデーコンテストの思い出です。

町田市の七国ビームクラブで夏のフィールドデーコンテストとキャンプを兼ねて、3泊4日の移動運用をすることになりました。

移動場所の選定条件は、3.5Mhz のダイポールアンテナが脹れて、ロケーションがFBな所でキャンプが出来て、格安で利用出来る事と、なんとも若者らしい虫の良い条件でした。

探せば有るもので、ロケーションを除けば条件に合う所がありました。

山梨県南都留郡道志村にある小学校の教室以外の校庭、体育館が自由に使えるのです。

近くには道志川も有りキャンプ可能です。しかも無償で使用できます。

七国ビームクラブの発起人である、大学生のNP*さんが、探してきました。

場所は山梨県南都留郡道志村にある唐沢小学校でした。

但し、交通の便が悪くて最寄りの都留駅からバスで1時間は掛かりました。

また横浜線の橋本駅からバス乗り継いでも最後は徒歩になる様な所でした。

私とS I U君は、高三の若さゆえに無謀にも、自転車で移動する事にしました。昭和41年、当時の同志道は未舗装の山越の悪路である事を良く分かっていた。

「一休み中の少年 WOB」

町田街道から橋本までは楽々な舗装路を進み相模原カントリー近くの三ツ木のバスターミナルから国道413号の道志道に入ると、未舗装のゴツゴツした岩が多い道が続き、また上り下りのキツイ、ダートが続きます。

並行して流れる道志川の谷は深く水はとても綺麗でした。夏の強い日差しを受けながら汗だくで、ペダルを漕いで進みました。



突然、S I U君のタイヤがパンクしました。パンクの予想はしていたので、道志川の川原に降りて、パンクの修理をしました。その時の水のとても冷たくって気持ち良かった事を覚えています。

パンクを修理して、唐沢小学校に向かう途中、既に唐沢小学校へ無線機材を運び終えて、自転車移動の私達を心配してか、NP*さん、とTB*さん、が軽自動車を迎えに来てくれて、重い荷物を一足先に運んでくれました。

これには大感謝です。

やがて到着した、唐沢小学校には、3.5と7と21と50のアンテナが設置されていて、FDコンテストの準備完了の様子でした。

「無事到着した唐沢小学校」

FDコンテストの始まる前に腹ごしらえの為に夕食の準備はキャンプ定番のカレーライスでした。

自然の中で、無線談義をしながらのカレーライスはVYFBでした。

コンテストは、周波数毎に担当と時間シフトを決めて、行いました。

50Mhz 担当の私とCK*さんとJO*さんの3名は、大室山1587mに登りFDコンテストに参加しましたが、TXの調子が悪く受信のみで残念な結果となりました。

当時の、1966年9月号のクラブ会報では、「0エリアの佐渡、2エリアの名古屋がFBに入感していたのに残念」と記載されています。当時はAMの時代でしたから、Es以外で50MHZのエリア越えQSOは難しかったですね。



コンテストの成績は、谷間のロケもありHF帯の方もFBなものではありませんでした。夏のFDコンテストはシャカリキになって稼ぐよりも、自然とキャンプを楽しみながらの無線とレクリエーションを楽しむ方がメインの様な感じでした。

そして、最終日には、七国ビームクラブ恒例の演芸大会があり、クラブメンバー各局が、趣向をこらした演芸を披露しました。

私と、NP*. TB*. SIU. TT*の5人は当時流行り始めたアメリカンホークソングをコピーしたバンドとして参加しました。

以来、五十数年、アマチア無線の移動運用とフィールミーティンが好きになりました。

「盛り上がった演芸大会」



また、唐沢小学校を借用するに当たり、子供達に電子工作の指導をする事も条件にあって、ベル作りを指導しました。コイルを巻く所からだったので結構大変でしたが、完成してベルが鳴る、あちこちで歓声が上りました。

この事が山梨新聞に掲載された事も、若き日の良い思い出になりました。

終わり